

久我山だより

平成 30 年 1 月 31 日

杉並区立久我山小学校

電話(3331)3631 FAX(3247)8415

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/kugayamashou/>

能楽体験で育てる「和の心」

副校長 福嶋 美智代

校舎西側からは、真冬の澄んだ空に雪景色の富士山がひときわ美しく見渡せます。子どもたちは寒さに負けず、長縄や短縄に取り組んでいます。

久我山小学校は特色ある学校づくりとして、「感じる、味わう、深める『和の心』」をテーマに 6 年生で能楽体験を行っています。

激動の世の中で生き抜くためには、受け身の姿勢ではなく、何事に対しても自分の事として主体的に取り組んでいける子どもたちを育成する必要があると言われていています。例えば、さまざまな試練に出会った時に、その背景を踏まえながら、自分はどうかあるべきか、自ら考えて答えを出すことが求められますが、そのためには、一人ひとりの内面に自分の基盤となる根っこのようなものが必要であり、その部分をしっかりと大きく育てなければなりません。本校では、日本の文化に触れることで子どもたちが和の心を学び、日本人としての自覚や誇りをもつことが重要だと考えています。

では、多種多様な日本の文化がある中で、なぜ能楽を取り上げるのでしょうか。それは、地域の中にある学校として、たまたま地域に拠点を置く「金春流 座・SQUARE」の高名な能楽師の方が住んでいらっしゃるからです。能楽師の高橋忍先生は、元保護者ということもあり、子どもたち一人ひとりを大切に思いながら接して下さるため、先生の能楽に対する熱い思いがダイレクトに子どもたちへ伝わります。そのため、とても質の高い体験を行うことが可能となり、子どもたちの心に和の心の種をまいて根付かせることができるのです。



今年度の能楽体験は、6 年生が昨年 1 月 3 0 日に行いました。体験や鑑賞を通して能楽を知り、次に和の心を感じ取り、味わい、深めていきます。具体的には「能楽の歴史」を学び、「4 種類の和楽器」「所作」「謡」「能面」を体験し、「装束」の着替えと「羽衣」の舞を鑑賞しました。更に今年は、謡の「高砂」をマスターするために、後日数回に渡ってご指導をいただいています。6 年生は、日常とかけ離れた不思議な節回しである謡の魅力を感じ取り、こちらが予想していた以上に意欲的に取り組んでいます。

「謡は普通にしゃべっている時と全然言い方が違った。声が大きくてすぐ響いていたし、聞きやすかった」という感想からも分かるように、日本文化の真髓を実感として味わうことができました。



このような体験で身に付けた和の心は、グローバル社会で多様な人々と協働する際のツールとして豊かな人間関係を促し、また、自分を見つめる際にはその拠り所となり、その人のより豊かな人間形成に寄与するでしょう。これは、本校の学校目標「人にやさしさ 自分につよさ」や、杉並区教育ビジョン 2012 の目指す人間像「『かかわり』を大切にし、地域・社会・自然と共に生きる人」「夢に向かい志をもって、自らの道を拓く人」にも通じる考え方です。

積雪の際には、校庭の施設開放団体関係者の皆様が子どもたちのために校庭に積もった雪を整備してくださいました。大勢の皆様に学校が支えられていることを感じます。この場をお借りして深く感謝申し上げます。



2月の予定



日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	木		16	金	お茶体験(6年)
2	金	新1年生保護者会 1・2・3年生4時間授業 プレスクール(新1年生のための授業体験) 給食費引き落とし日(今年度最後の引き落とし)	17	土	
3	土		18	日	
4	日	前日までにゆうちょ銀行口座 へ入金をお願いします。	19	月	朝会 クラブ活動(3年生はクラブ見学のため6 時間授業)
5	月	朝会 委員会	20	火	◎
6	火	◎	21	水	安全指導
7	水	月目標指導	22	木	集会
8	木	集会	23	金	能体験(6年)
9	金	なかよし班	24	土	防災教室
10	土		25	日	
11	日	建国記念の日	26	月	クラブ活動
12	月	振替休日	27	火	◎
13	火	幼保小交流(1年) ◎	28	水	いのちの日(集会)
14	水	保健指導 4時間授業(区内研究会のため)			
15	木	集会			

- ・◎は、スクールカウンセラーの来校日です。
- ・今月は、予告なしの避難訓練を行う予定です。



校内研究

1月19日(金)、研究発表会がありました。これは、杉並区教育委員会からの指定を受け、「特別の教科 道徳」について、発表をするものでした。当日は5校時目に全学級で道徳の参観授業を行い、そのあと体育館で発表を行いました。

杉並区内をはじめ、多くの学校から先生方が集まりました。教師が教え込むのではなく、子どもたちに考えさせる授業を目指して準備をしてきました。どの学級でも、ワークシートに書いて考えを深めたり、意見を発表したり、友達と交流したりしながら、一生懸命取り組む姿が見られました。また、子どもたちと校内ですれ違ったときの挨拶が気持ちよいという声がたくさん聞かれました。

後半は道徳の授業をどのように組み立てるか、子どもたちの評価はどうするのかを発表しました。とくに評価は道徳性の評価ではなく、授業中にテーマとなる内容についてどのように取り組んだか、またどんな成長があったかを見取るのかを参加された方々にお話しました。

今回の研究発表で得た知識を活かし、来年度から始まる「特別の教科 道徳」で子どもたちが考えを深めていける授業を展開していきたいと思います。

(研究主任 ※※ ※※)

2月の生活目標

寒さに負けない体を作ろう

今年は、東京でも雪が降ったり、34年ぶりに6日連続で氷点下の気温が観測されたり、厳しい寒さが続いています。体を丸めて登下校している子どもたちの姿が増えています。また、寒さに伴い、風邪やインフルエンザも流行っています。寒さに負けない体を作るためには、睡眠・食事・運動が欠かせません。学校では外遊びを積極的にして体力づくりを心がけさせたり、手洗い、うがいをこまめにするなどの指導をしていますが、ご家庭でもお子様の健康管理をよろしく願いいたします。

(生活指導委員会 ※※ ※※※)